

美しいまち
とけ込む文化

第6回 しまね景観賞



島 根 県



はじめに



島根県知事 **澄田信義**

本県には、私たちに安らぎと潤いを与えてくれる、海、山、川などの素晴らしい自然景観、人々の営みから創り出された農山漁村景観、今日まで引き継がれ大切に守り続けられてきた歴史的景観など、それぞれに個性豊かな地域景観があります。

このような優れた景観を守り育てるために「ふるさと島根の景観づくり条例」を制定し7年が経過しました。その間、諸施策を通じて、景観づくりに対する関心も徐々に高まり、行政、県民、事業者がそれぞれの役割を果たし、協力し合いながら地域の景観づくりに取り組んだ成果が実りつつあります。

そうした素晴らしい成果を認め、更に飛躍させるとともに、多くの人の景観に対する意識を喚起し、地域の景観づくりを推進するために創設した「しまね景観賞」も、今年で6回目を迎えました。年々応募数も増え、また応募内容も地域活動等多岐に渡っております。このことは、多くの県民の皆様が景観に対する関心を高く持っていたいただいた結果と考えております。

今後も「しまね景観賞」が地域の景観づくりへの意識を高め、魅力と活力にあふれる地域づくりの一助となることを期待するとともに、引き続き地域の景観づくりに対し、より一層の支援をしてまいりたいと考えています。

受賞されました皆様には、深く敬意を表するとともに、選定にあたりご尽力いただきました「しまね景観賞審査委員」の皆様並びに、この趣旨に賛同し応募をいただきました皆様に対しまして、厚くお礼申し上げます。

平成11年2月



選考総評



しまね景観賞審査委員会
委員長 **藤岡大拙**

今回で6回目を迎えたしまね景観賞であるが、応募数は昨年を大きく上回る123通であった。今回の特徴は、若い方からの応募数が増え幅広い年代層における関心の高さがうかがえると同時に、応募内容も個人住宅部門やまち・みどり部門での応募数が増え、今まで公共的な施設に偏りがちであった景観賞において県民自らが参加できる部門への応募が増えたことは、この賞が少しずつ県民に浸透している現れではないかと考えている。応募いただいた物件は、いずれも質が高く、長時間にわたり慎重に審議を重ね、最終審査に残った31件の中から以下のとおり12件の物件・活動を選定した。

大賞に選ばれた「ダム建設に伴い、移築された住宅」は、山間の自然をうまく活かしながら古い時代の民家建築を後世に伝えるために移築されたもので、周囲の景観と調和し、昔からその場所に建っているかのような風格と品格を醸し出している。

優秀賞は4件である。一般建築物部門からは、建築物と外構が共に質の高い設計がなされ、樹木の選定にも細やかに気を使った「大田市立図書館」と、既存地形を活かしながら優れたデザインにより新しい景観を創り出した「悠邑ふるさと会館十かわもと音戯館」の2件が選ばれた。両者ともデザイン性に優れ、周辺景観と引き立てあいながら新たな地域景観を創出している。

工作物・その他部門からは、本物の素材を使用し、緑豊かで落ちつきある空間を創り出した「山代二子塚古墳」、堀川という歴史的資源を遊覧船という新たな切り口からの視点場を設けることにより、見られて美しくなる景観を作り出した「堀川遊覧」の2件である。後者は、今後水郷松江の堀川を利用した、ますますの景観づくりに期待を込めての評価である。

奨励賞は6件である。まち・みどり部門からは、松江大橋架橋の歴史を語り、まちなかに緑の潤いを与える通称「源助公園」、古墳公園を中心とした住民自らの地域活動による景観を創り出している「古代出雲王陵の丘景観づくり活動」、ゆとりのある快適な住宅団地を目指し、行政が景観のルールを定めて誘導し、そこに住む住民の自主的な活動もみられるようになった「重国住宅団地」の3件である。土木施設部門からは、一見どこが改修されたか分からないくらいの手つかずの川を演出し、子供たちが走り回る様子が容易に想像できる「五右衛門川多自然型川づくり」の1件である。個人住宅部門からは、セットバックすることにより前面の歩道を広げ植栽を行い、みち行く人にゆとりの空間を創り出している「堀江邸」、狭い路地に面しながらも生け垣や庭の緑で潤いある空間を提供している「城市家」の2件である。

特別賞に選ばれたのは、「舟つきの松とその周辺」である。これは、松平不昧公の時代に植えられた松を個人で守り続け、立派な樹姿により、市街地に歴史の重みと安らぎを与えている景観を評価したものである。

最終審査に残った物件はいずれも表彰に値するものばかりであり、景観づくりの着実な広がりを実感した。今後、さらに多くの県民、事業者が積極的に取り組まれることを期待するとともに、この制度が多くの人に支持されるよう、引き続き努力していかねばならないと思っている。

大賞

ダム建設に伴い、移築された住宅

所在地

飯石郡頼原町大字八神231

事業主体

今田昭二

施工者

日新ホーム(株)

概要

母屋 瓦葺き平家(中2階) 土蔵 座敷
江戸末期嘉永年間の木材

明治10年着工

移築 平成5年9月～平成10年6月

柱 檜、栗 梁・桁 肥松



ダム建設に伴い、移築された住宅。ただそれだけである。しかし、すごいことである。

民家は明治10年の上棟。築120年になる。江戸末嘉永年間に使用する木材を調達し、30年も寝かせていたというから、木材そのものは切り出されて150年になる。移築された住宅の木組みを見せていただいたが、大黒柱、副大黒柱、そして土間の上を飛び交う柱、桁の太さには驚く。今、この民家をつくろうと思ってもとてもできないであろう。実際、移転だけで通常の住宅を新築する場合の2倍はかかったという。資源を有効利用するというだけでなく、地域の伝統的民家の形式を後世に伝える実に貴重な試みである。

とりわけ景観賞に値するのは、移築に当たって、山や川などの周囲の自然環境、日照や風向きなどの条件が周到に調査され、敷地造成にも十分意が払われていることである。移築された住宅は、まるでるか以前から建っていたかのように周囲の景観に溶け込んでいる。(布野修司)

まち・みどり部門 奨励賞

松江大橋南詰め(八軒屋)公園 (通称：源助公園)

所在地

松江市八軒屋町

事業主体

松江市

設計者

(有)ランドシステム計画研究所

施工者

(有)みどり建設

概要

平成8年度整備
公園整備面積 411.0m²
源助記念碑、灯台型モニュメント、
木製円形サークル



松江大橋の南詰め、八軒屋町にあるこの公園は、以前「源助公園」と呼ばれていたものであるが、大橋の人柱となったと伝えられる源助碑や大橋架橋の際に殉職した深田技師の記念碑、植栽やベンチが無秩序に配置されたままの雑然とした公園であった。

その公園が、平成8年度に松江市によって整備され、市民にゆとりと潤いを与えてくれるポケットパークとしてよみがえった。中央に桜の古木を残し、以前は西側にあった灯台を再現し、八軒屋町にちなんだ8本の列柱、源助や深田技師の碑等の大橋や大橋川に関わりのあるものをバランスよく配置し、古き良き「水都松江」の雰囲気や現代の私たちに新しい感覚で提示してくれている。春には満開の桜が大橋川岸にライトアップされ、桜の木の下に人々が集う様はなかなか幻想的でもある。

街づくりには「点」を作るだけでなく、点と点を結びつけ人々に歩いてもらう「動線」を作り出す作業が必要であるが、殿町から京店をそぞろ歩き大橋を渡ってこの公園でしばし憩い、また本町、寺町あたりへ歩き出す……。この公園はまさに、松江のまちの動線を考える上でも、また松江の風情を活かした街づくりや、具体的な公園、景観づくりにも一つのヒントを与えてくれるものである。(小春草)



古代出雲王陵の丘景観づくり活動

所在地

安来市荒島町字造山・向山

事業主体

荒島地区活性化推進協議会

概要

平成5年3月 古代出雲王陵の丘整備

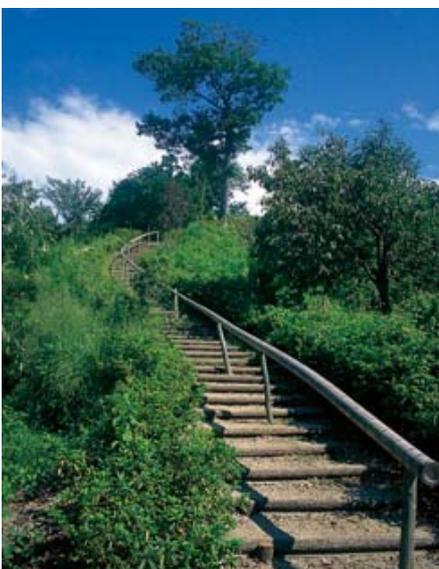
平成5年3月

荒島地区活性化協議会結成

会員 520名

平成8年3月

古代出雲王陵の丘周辺の町内会等の
緑化協定締結



古代出雲王陵の丘（造山古墳）は、中海の西岸に面した標高30～40mの低丘陵地にあり、四つの古墳（一つは民有地）から成り立っている。これを平成2年から4年にかけて安来市により、古墳部分を芝貼りとし、遊歩道や眺望広場や東屋などが整備され、荒島古墳群の一つとして公園化された。

荒島地区ではこれを契機に、平成5年に荒島地区活性化推進協議会を結成し、「古代出雲王陵の丘」と命名を行い、地域活動の拠点とした。この貴重な古代からの贈物を再認識するとともに地域の誇りとして、地域住民による「王陵の丘植栽計画」をたて、100本の桜や椿の植樹、紅葉広場の形成、100人をこえる地区住民参加による春秋の一斉清掃活動など、地域住民あげでの景観づくり活動が展開された。同協議会としては、今後も計画的に手は加えるものの、一見手が加わっていないような素朴な景観づくりを目指して活動を続けていくという。このような地域住民による組織的な景観づくり活動は、地域景観の創出活動として、高く評価されるものである。この度の奨励賞受賞を励みとして、後世に残るような景観形成活動を期待するものである。（矢田清治）

まち・みどり部門 奨励賞

重国住宅団地

所在地

仁多郡横田町大字下横田

事業主体

横田町大市重国常会

概要

総面積 1.1ha、20区画、14戸

コンセプト

「緑とせせらぎのあるまちづくり」

住民間申し合わせ事項

「重国地区街づくり計画」



現地審査でこの地を訪れた日は、晩秋ながら快晴の温かい日であった。そこには、山並みを背に広々とした懐かしい家並みが広がっていた。なにより感激したのは、道路と隣家に面しては生け垣が、また歩道の一部には芝生が植えられみどりの帯となり、各戸の前を清らかなせせらぎが流れていたことだ。

ここは横田町が造成し、分譲した14戸の住宅団地である。背景の山々と調和するように、建築様式、屋根瓦や壁の色彩、高さ、壁面の位置など八つの項目にわたってルールを定めて、ゆとりのある快適な住宅団地を目指したという。周りの景観との関わり方、地域性、ゆとりと潤い、そして今後のモデルに成り得るかといった、しまね景観賞の審査基準に照らし合わせても充分及第点をつけられる。

行政がしっかりとしたコンセプトを持ち誘導した事例である。このような景観づくりに対して住民が賛成し、ルールを遵守するのは素晴らしいことである。この住民たちがこの先、このルールをいかに継続して守り続けるかが大切である。今後も見守りたい。

(田村美幸)

舟つきの松とその周辺

所在地

松江市南田町151

事業主体

野津茂人

概要

樹齢 約300年
高さ 6.7m
幹周り 3.6m
枝の広がり面積 約307m²



大橋川と北田川をつなぐ堀川の西方、松江市南田町の野津茂人氏宅の東側に笠状に優美な枝の広がりを見せる老大松がある。樹齢およそ300年、高さ6.7m、幹周り3.6m、枝の広がりには計り方にもよるが、約307m²という巨大な松である。

伝えによると、松平治郷(不味)の室彰姫(彰楽院)が仙台の伊達家に里帰りしたとき、土産としてももらった盆栽を、後、家老柳多四郎兵衛が拝領し、自分の中屋敷に植えたのが、ぐんぐん成長して今日の大松になったという。歴代藩主が楽山に向かう途中、この松を目印に舟を着けるようになったというので、いつしか「舟つきの松」と呼ばれるようになった。

維新後、屋敷も松も野津家の所有となったが、手入れを怠らず、特に近年、マツクイムシが猛威をふるっているにもかかわらず、大切に守り続けている。お陰で、堀川を散策する市民たちに、歴史の重みと、心の安らぎを与えてくれる重要な景観となっている。(藤岡大拙)

土木施設部門 奨励賞

五右衛門川多自然型川づくり

所在地

簸川郡斐川町直江・上直江

事業主体

島根県

設計者

(株)コスモ建設コンサルタント

(株)M環境設計室

施工者

(株)フクダ、(有)飯塚組、
(有)協立工業、飯野建設、
ヒカワ工業(有)、(有)坂田土建、
(有)高橋造園、寿産業(株)、
南風園

概要

石張護岸、捨石護岸
石材 河下産
工事延長 1,950m
竣工 平成9年12月



環境問題の発現から景観に対する社会の意識が向上し、河川環境の整備においても、従来の安全性・経済性や単一機能性のみの観点から、環境に配慮した整備が検討されるようになってきた。特に、農村地域における河川の機能として、生物空間の創出が重要視されてきている。これは、水中の生物空間としてはもちろんのこと、護岸を主とした緑地帯が形成する生態回廊としての役割を担う。この事業でも、護岸に自然石や植生を配置する、河床を固定しない、河道を自然に蛇行させるなど、自然に近い形での整備を心がけ、地域に見合った景観を創出しようとする試みの第一歩として評価できるものである。地域の人々は「どこが整備されたのだろうか」と思われるかもしれないが、このような事例を通して、河川環境に対する一般の認識が向上できれば今回の景観賞の意義は大きいといえる。
(藤居良夫)

一般建築物部門 優秀賞

大田市立図書館

所在地	施工者	概要
大田市大田町大田イ113-2	青木組・はたの産業特別共同 企業体	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨2階建
事業主体 大田市	はたの産業(有)	建築面積 2,069.424m ²
設計者 (有) ナック建築事務所	山陰スプリット工業(有)	延べ面積 2,581.82m ²
		竣工 平成10年12月



こじんまりとした図書館である。設計競技で選定された作品として、水準が高い。

設計の密度が濃く、丹念に仕上げられた印象を受けた。

訪問したときは晩秋でいささか寒かったのであるが、気候のいい季節には、丸い回廊・デッキで囲まれたオープン・スペースが気持ちよさそうだ。一階には図書館ゆかりだという二千年蓮の池がある。扇子を広げたような室内の平面は蓮の花を象徴しているかもしれない。

打ち放しのコンクリートとアルミパネルの外装は落ち着いたグレイを基調としている。なによりも外構に丹念に気が払われているのがいい。外灯、ベンチ、自転車置き場などがきちんとデザインされている。常緑樹と落葉樹を組み合わせた樹木の選定もいい。惜しむらくは敷地の周囲を囲む擬木の柵である。

(布野修司)

一般建築物部門 優秀賞

悠邑ふるさと会館+かわもと音戯館

所在地

邑智郡川本町大字川本332-15

事業主体

邑智郡町村総合事務組合
川本町

設計者

(株)新居千秋都市建築設計

施工者

大林組今井産業特別共同企業体
有限会社大國造園土木
(株)大林組

概要

悠邑ふるさと会館
鉄筋コンクリート造
地下1階 地上3階

建築面積 4,850m²
延べ面積 5,728m²
竣工 平成8年10月
かわもと音戯館
鉄筋コンクリート造
一部鉄骨 3階建
建築面積 2,424m²
延べ面積 2,712m²
竣工 平成10年6月



建築物としての評価と景観としての評価のバランスは難しいと常日頃感じている。

この悠邑ふるさと会館とかわもと音戯館の現地を訪れた第一印象は、市街地から見た圧倒される巨大さであった。しかし、意外にも敷地内に立つと、巨大さよりも大きなものに包まれた安心感のようなものを感じた。それは、以下の三つの理由によるのかもしれない。

1. 既存の地形をうまく活かした敷地利用
2. 地域の伝統的素材である瓦屋根、土壁を意識した装飾壁の風合い
3. 既存のコンクリートの擁壁を壊し、その部分に緑を還元している点

いずれにしても、建築物の大きさを既存地形を活かした設計と優れたデザインによりカバーしている好例である。(松場登美)

個人住宅部門 奨励賞

堀江邸

所在地

江津市浅利町141番地

事業主体

堀江 一

設計者

(有)山田建築事務所

施工者

今井産業(株)

概要

専用住宅(2世帯)

鉄筋コンクリート

一部木造 地下1階、地上2階

建築面積 389.89m²

延べ面積 628.12m²

竣工 平成10年4月



旧国道沿いのやや単調な街並みの中であって、ひときわ目を引くデザインでありスケールであるが、それでいて、周囲から浮き上がった感じではない。傾斜地盤を活かした設計ということで家屋の位置が高く、コンクリート打ち放しの壁がいささか長大ではあるが、所々切り取られたようなデザインが、屋根や窓、車庫の入り口の形状とともに、四角形の連続によるリズム感を生み出しており、この種の壁にありがちな威圧感がうまく消化されている印象を受けた。石州瓦の屋根の色調、質感もやわらかなものであり、家屋の壁面の色彩ともマッチして、居住空間に相応しい明るく落ち着いた雰囲気を醸し出している。

評価のポイントとして特に注目されたのは、全体に2メートル、セットバックして歩道を広げ、レンガ調の舗装によって整備し、ケヤキの植栽も行っている点。周辺道路の歩道部分が狭く殺風景なだけに、歩行者がほっとできるスペースを提供している。

個人住宅として当然のプライバシー保護の配慮はなされながらも、道行く人々の眼差しを押し返すのではなく、やわらかく受けとめている風情の建物である。

(八田典子)

個人住宅部門 奨励賞

都市家

所在地
益田市七尾町10-39

事業主体
都市陽子

設計者
(有) 万設計

施工者
大畑建設(株)

概要
専用住宅
木造 地上2階
建築面積 148.22m²
延べ面積 175.21m²
竣工 平成9年11月



ヨーロッパの古い街を旅していると、窓辺に咲きそろった花々に心和むことがよくある。何かの本に、あれは、「道行く人々へのあいさつである」と書かれていて、なるほどと思った。「こんにちは!」「ようこそ」「お元気ですか」。無言のうちにもそんなメッセージが飛び交う街角は、人間的魅力に富んでいて楽しい。個人住宅はもちろん極めて私的なものであるが、人間自身と同様に、「社会的なおつきあい」も求められるものであると改めて思う。「私」だけでなく、「公」との関わりにも心配りした優しさや美しさを備えた家々が増えれば、気持ちの良い人間関係の輪が広がっていくように、生き生きとした魅力的な街並みが出来上がってくるのではないだろうか。

今回受賞のこの住宅は、閉鎖的な印象になりがちな袋小路の一角にあって、緑豊かな前庭を設けている。生垣をはじめとする植栽は、しっかりとプライバシーを守りつつも、半ばオープンな状態で、私たちの眼差しを迎えてくれる。現地で見つけた時は秋の終わりで、木々それぞれの紅葉が美しかった。元の家にあったという古い庭石や、家屋の色調、円みを帯びた出窓の設えなどにも、さり気ない配慮と演出が感じられた。

(八田典子)

山代二子塚古墳

所在地

松江市山代町470-1

事業主体

島根県

設計者

(株)文化財保存計画協会

施工者

島根県住宅供給公社

概要

山代二子塚古墳 面積 9,934.89m²

土層見学施設 鉄骨造

床面積 135.89m²

ガイダンス山代の郷

鉄骨造一部木造 床面積 428.13m²



山代二子塚古墳は島根県最大、日本でも最大級の前方後方墳である。周辺にも多くの古墳が存在し、古代出雲の強大な勢力を感じることができる地域である。

ただ現在は、周囲に多くの民家や中学校などが建ち並び、国道がすぐ近くを走るという状況にあるが、この場所は、そういう周囲の喧噪を忘れ、古代に思いを馳せることのできる落ちつきある空間を創出している。

それは、古墳、ガイダンス山代の郷に共通して言えることであるが、柔らかで落ちついた風合いの来待石を階段や標識、壁面などにふんだんに使用していること、緑豊かな植栽が施してあること、そして背後の茶白山と自然に馴染んでいることではなからうか。

年を経るにしたがって来待石の味わいも増し、一段と緑豊かになり、住民の憩いの場になることを期待したい。

(島田一嗣)

工作物・その他部門 優秀賞

堀川遊覧

所在地

松江市黒田町 ほか

事業主体

松江市

概要

行程 一周3.7km

所用時間 約45分

乗船定員 10~12名

運行開始 平成9年7月20日

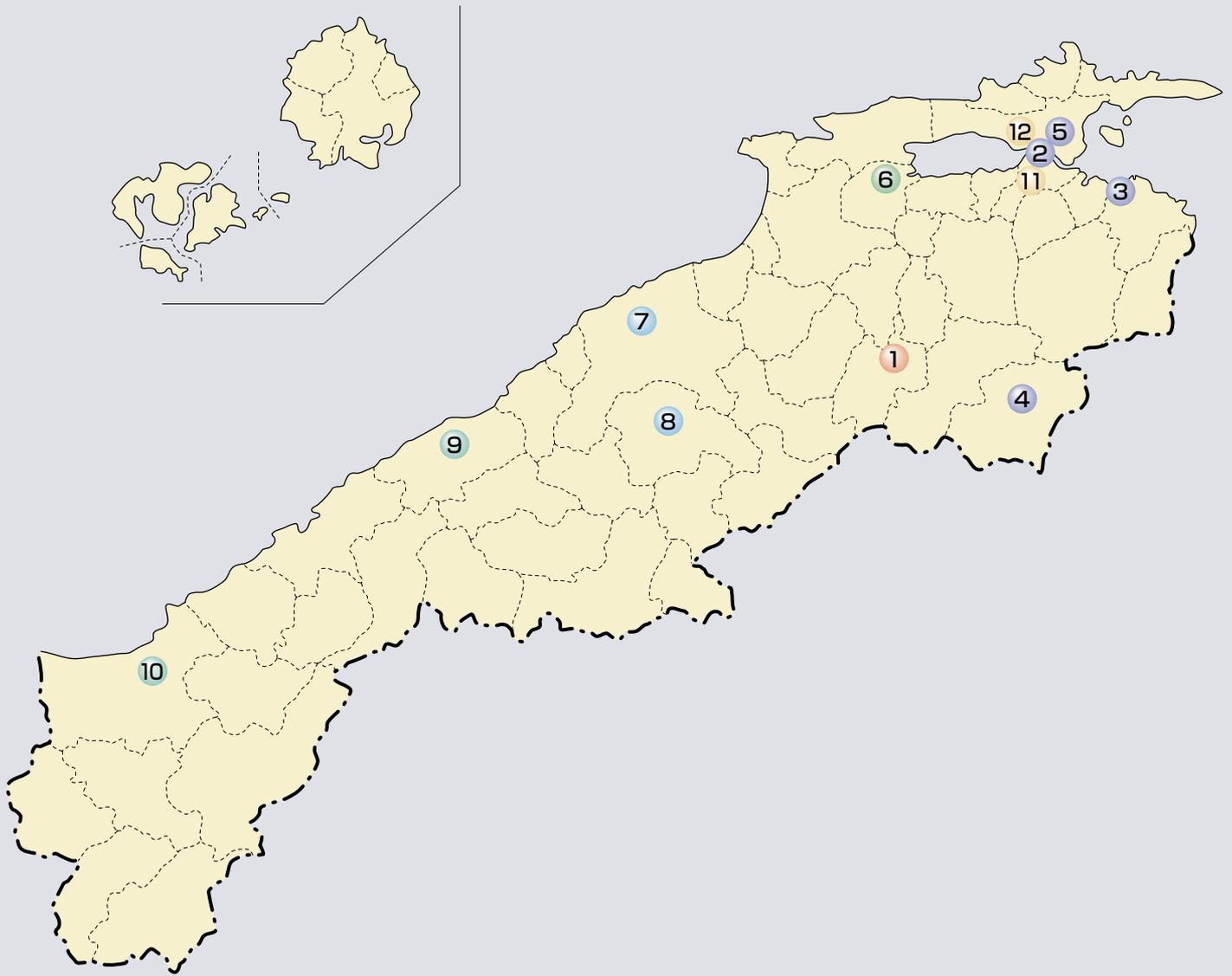
船乗場 3ヶ所



今まで、建物は堀川に背を向け、人々の意識も堀川から遠のいていたが、この事業により、人々は堀川に目を向けるようになった。遊覧船は移動する新しい視点場を提供すると同時に、沿川からは動きのある視対象ともなり、堀川と沿川との関係が緊密に保たれ、水辺の景観が改善されてきている。遊覧船のりばは、城下町松江らいしデザインが考慮され、訪れる人々をなごませる。堀川遊覧における個々の構成要素にはまだ改善されるべき点はあるが、全体としてみた場合、これは松江城と堀川という歴史的資源をうまく活かして景観形成をはかった事業として成功しており、景観賞の評価に値するものである。

当初の予測以上の利用者を数え、その反響も大きく、この事業は松江のイメージの向上に多大なる貢献をしている。また、この堀川遊覧は、水郷水都松江として、堀川をはじめとした川との関わりを再認識し、川を表にした沿川空間をトータルにまとめ上げるような街づくり・景観づくりに対して重要な位置づけとなってくだろう。

(藤居良夫)



表彰対象事業・作品

大賞

- ① ダム建設に伴い、移築された住宅
事業主体／今田昭二

まち・みどり部門 奨励賞

- ② 松江大橋南詰め(八軒屋)公園 (通称:源助公園)
事業主体／松江市

まち・みどり部門 奨励賞

- ③ 古代出雲王陵の丘景観づくり活動
事業主体／荒島地区活性化推進協議会

まち・みどり部門 奨励賞

- ④ 重国住宅団地
事業主体／横田町大市重国常会

まち・みどり部門 特別賞

- ⑤ 舟つきの松とその周辺
事業主体／野津茂人

土木施設部門 奨励賞

- ⑥ 五右衛門川多自然型川づくり
事業主体／島根県

一般建築物部門 優秀賞

- ⑦ 大田市立図書館
事業主体／大田市

一般建築物部門 優秀賞

- ⑧ 悠邑ふるさと会館十かわもと音戯館
事業主体／邑智郡町村総合事務組合・川本町

個人住宅部門 奨励賞

- ⑨ 堀江邸
事業主体／堀江 一

個人住宅部門 奨励賞

- ⑩ 城市家
事業主体／城市陽子

工作物・その他部門 優秀賞

- ⑪ 山代二子塚古墳
事業主体／島根県

工作物・その他部門 優秀賞

- ⑫ 堀川遊覧
事業主体／松江市

平成10年度

第6回 しまね景観賞



しまね景観賞表彰銘板
アルミ合金鋳物製
22×27

審査委員

- 小草 伸春 島根県建築士事務所協会会長
- 田村 美幸 公共の色彩を考える会委員長
- 八田 典子 島根国際短期大学助教授
- 藤居 良夫 島根大学生物資源科学部助教授
- 藤岡 大拙 島根女子短期大学学長
- 布野 修司 京都大学工学部助教授
- 松場 登美 石見地域デザイン計画研究会会長
- 矢田 清治 島根県建築士会会長
- 島田 一嗣 島根県環境生活部長

敬称略/50音順 ○印は審査委員長

審査経過

募集期間

平成10年8月1日～9月15日

募集結果

推薦（応募）総数……123通

推薦（応募）物件数…103件

第1回審査委員会（平成10年6月26日）

対象物、募集方法、審査日程、審査基準等の検討

第1次審査（平成10年10月7日～10月19日）

推薦書類、写真により第2次審査の対象となる31物件を選出

第2回審査委員会（平成10年11月23日・24日）

選出された31物件について現地審査及び最終審査を行い、12物件を選定

表彰式（平成11年2月10日）

受賞事業、作品の事業主体、設計者、施工者に対して表彰状を、事業主体には副賞として銘板も併せて

第6回 しまね景観賞第2次審査対象物件一覧

応募部門	物件名称	所在地
まち・みどり部門	※舟つきの松とその周辺 ※松江大橋南詰め(八軒屋)公園(通称:源助公園) ※古代出雲王陵の丘景観づくり活動 阿用公民館周辺景観づくり活動 意東海岸 県道西ノ島海士線菱浦地区臨海道路 ※重国住宅団地	松江市南田町 松江市八軒屋町 安来市荒島町字造山・向山 大原郡大東町大字東阿用、岡村地内 八束郡東出雲町大字下意東 隠岐郡海士町福井 仁多郡横田町大字下横田
土木施設部門	深野川 宍道湖グリーンパーク 稲荷橋 県立石見海浜公園(Dゾーン) ※五右衛門川多自然型川づくり 赤川多自然型川づくり	飯石郡吉田村大字深野地内 平田市園町 松江市内中原町187-8番地先 浜田市久代町、江津市波子町 簸川郡斐川町直江・上直江 出雲市駅南地区
一般建築物部門	出西窯無自性館 ふれあい交流館 ギャラリー・C (株)玉造温泉ゆうゆ 秦記念館 ※悠邑ふるさと会館+かわもと音戯館 宍道町健康センター・来待診療所 ※大田市立図書館	簸川郡斐川町出西3368 八束郡宍道町大字宍道1441-1 八束郡玉湯町玉造255番地 美濃郡美都町大字都茂 邑智郡川本町大字川本332-15 八束郡宍道町 大田市大田町大田イ113-2
個人住宅部門	※堀江邸 錦織邸 株木邸「兄妹の家」 ※ダム建設に伴い、移築された住宅 ※城市家 大和邸	江津市浅利町141番地 松江市東生馬町38-1 八束郡八雲村大字平原275-7 飯石郡頼原町大字八神231 益田市七尾町10-39 松江市東川津町1789番地
工作物・その他部門	※山代二子塚古墳 バス停留所 ※堀川遊覧 寺町サロン 深篠川野営場公衆トイレ建設工事	松江市山代町470-1 大田市大森町 保存地区内 松江市黒田町 ほか 松江市和多見39 邑智郡石見町大字井原

受付順 ※受賞作品

